



東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

三角・参画
**さんかくで共に創り奏でる
コレクティブインパクト**

参加無料
要事前申込

— レジリエンスのある未来を創るため、「守破離」をエコシステムで体験する —

日時	2022年 3月28日 [月] 本編 16:30~19:00 OPプログラム 14:30~16:00 29日 [火] 本編 16:00~19:00 OPプログラム 19:00~20:00
会場	オンライン形式(zoom)
主催	東京学芸大学、経済協力開発機構(OECD)
後援	文部科学省

昨年2021年3月に開催された東日本大震災から10年を迎えてのワークショップ「**あれから。これから。**」では震災のような危機を乗り越えるためのレジリエンスは、どのような学びにおいて身に付けられるのか、国内外の多様な参加者で対話しました。それを引き継ぐ今回のワークショップでは、より良い未来を創るためには、被災者・非被災者の立場を越えた共感とともに、柔軟性や適応力などのレジリエンスがどのように人々の意識や行動に変化をもたらすのかを更に深めて考えます。自分の中に無意識に持っているバイアス(先入観)に気づき、learn/ unlearn/ relearn(学び、ほぐし、学び直す)の機会を提供することで今のあたりまえ(既成概念)の問い直しや多様な立場・他者の視点で学校教育を見直すことを通じて、レジリエンスを含む未来の学校教育や学びについて模索します。

参加申込み

下のバナーをクリック、またはQRコードからお申込みください。

参加登録締め切り:**3月18日**[金]



プログラム

Day 1	3月28日 [月]
14:30-16:00	OP きょうそうさんかくたんけんねっと(KSTN)研究者コンソーシアムによるセッション 「教育のイノベーションにおけるコレクティブインパクト:OECD Education2030の鍵概念から日本の教育を考える」
16:30-19:00	学芸大・OECD 共催ワークショップ [日・英] 「過去から学ぶ」 〈前半〉2021年3月WSのふりかえり 〈後半〉2021年3月から今日までそれぞれのあゆみ
Day 2	3月29日 [火]
16:00-19:00	学芸大・OECD 共催ワークショップ [日・英] 「現在から未来へ」 〈前半〉今日の社会・教育に「なんでやねん」 〈後半〉未来への問題提起
19:00-20:00	OP 教育界の新しいパートナー、未来の学校プロジェクト紹介

OP : オプションプログラム(任意参加、日本語のみ)
※プログラム内容は変更になる場合がございます。

【お問合せ】 東京学芸大学・OECD共催ワークショップ実行委員会 メール: tguworkshop@gmail.com